

令和8年度

国語

(解答はすべて国語解答用紙に記入すること)

この試験問題は持ち帰ることができます。

なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。

同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

受験 番号					氏 名	
----------	--	--	--	--	--------	--

〔問二〕 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

(注) *問題作成上二部省略した箇所がある。

(伊藤亜紗 「身体の違いがひらく空間」 『アナザーユートピア』
「オープンスペース」から都市を考える」収録)

(一) — 線部 a ~ e について、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。

また、カタカナは漢字に直し、楷書で書きなさい。

〔 a テンケイ b ヌ c フ d 無下 e ブンセキ 〕

(二) 空欄 あ、 い に当てはまる最も適切な言葉の組合わせを、次のア～オ

から一つ選び記号で書きなさい。

ア	<input type="checkbox"/> あ	しかし	い	そして
イ	<input type="checkbox"/> あ	たとえば	い	ところが
ウ	<input type="checkbox"/> あ	なぜなら	い	しかし
エ	<input type="checkbox"/> あ	要するに	い	たとえば
オ	<input type="checkbox"/> あ	そして	い	つまり

(三) — 線部①「もはや自分の身体そのものが「ひろば」のように感じられる」とはどのようなことか。正しく述べている最も適当なものを、次のア～エから一つ選び記号で書きなさい。

- ア 「ひろば」に行けない障害者にとっては、他者との交流が自分のプライベートの場のように感じられること。
- イ 障害者にとって、本来プライベートなものである自分の身体が、常に他者が関わることで、パブリックのようなものに感じられること。
- ウ 障害者は、自分の身体をきっかけに常に他者と関わっているため、プライベートな空間よりも、オープンな公共の空間がよいと感じられること。
- エ 入浴するために、常に多くの他者の介入が必要な障害者は、自分の身体がプライベートにもパブリックにも感じられること。

(四) — 線部②「社会で生きるために必要な「演技」とは、どうすることか。次の文の A に当てはまる適切な言葉を、本文中の言葉を引用して二十字以内で書きなさい。

障害者である自分のニーズよりも、 A こと。

(五) — 線部③「「私」が揺れ動くそんな場」とはどういう場か。開かれた場に対する筆者の考えをふまえて、本文中の言葉を引用して四十字以内で書きなさい。

〔問二〕 次の漢文を読んで、後の各問いに答えなさい。なお、設問の都合上表記を改めた部分がある。

(一) 本文中の **A** に当てはまる適切な言葉を、本文中の言葉や内容を参考に
して二字で書きなさい。

(二) ———線部①「不笑不足以為道」は、「笑はざれば以て道と為すに足らず」と
読む。この読みに従って、白文に返り点と送り仮名をつけなさい。送り仮名は、
カタカナで書くこと。

(三) 本文中の「若」の使われ方について最も適切なものを、次のア～エから一つ
選び記号で書きなさい。

- ア まだ現実になっていない仮定の意を表している。
- イ 他の動作をさせる使役の意を表している。
- ウ 比喩的に、同等・類似の意を表している。
- エ 不確実な断定の意を表している。

(四) ———線部②「大器晩成」のように、昔から伝えられている話やいわれのある
ことがらがひとまとまりの語句となり、よく引用されるものを何というか。漢
字四字で書きなさい。

(五) 中学生が自分の体験をもとに「大器晩成」という言葉を使って短い文章を作
る場合、予想される中学生の文章を書きなさい。ただし、中学生は「大器晩
成」の意味をきちんと捉えられているものとする。

(「老子」新釈漢文大系)

〔問三〕 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

(徒然草 第一五〇段)

ウ せ 使役の助動詞「す」の連用形、ざら 打消の助動詞「ず」の未然形、
 ん 婉曲の助動詞「ん」の終止形
 エ せ 動詞「す」の未然形、ざら 打消の助動詞「ず」の未然形、ん 婉曲
 の助動詞「ん」の連体形

(二) A に当てはまる言葉をひらがなで書きなさい。

(三) 本文中には、会話文として「 」(かきかっこ)をつけられる部分が一カ所ある。その部分の最初と最後の三文字を抜き出して書きなさい。

(四) 線部②「堪能の嗜まざる」とはどんな意味か。最も適切なものを次のア～エから一つ選び記号で書きなさい。

- ア 芸の才能がなく、稽古もしない
- イ 芸の才能はあるが、稽古はしない
- ウ 芸の才能があり、稽古もする
- エ 芸の才能はないが、稽古はする

(五) この文章の作者を漢字で書きなさい。

(六) この文章を次の のようにまとめたとき、あとの条件1、条件2にしたがって、B に入る言葉を書きなさい。

どのようなことも、上手な人たちの中にまじって、B 励むことが、
 自分の力を高めることになる。

条件1 「失敗」「規律」「勝手な」という言葉を用いること。(「」は文章中に使用しないようにする)

条件2 四十字以内で書くこと。

(一) 線部①「せざらん」の語句と表現に関する説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び記号で書きなさい。

ア せ 使役の助動詞「す」の連用形、ざら 打消の助動詞「ず」の未然形、
 ん 婉曲の助動詞「ん」の連体形
 イ せ 動詞「す」の未然形、ざら 打消の助動詞「ず」の未然形、ん 婉曲
 の助動詞「ん」の終止形

〔問四〕 「中学校学習指導要領」（平成二十九年三月） 第2章 第1節 国語

第2 「各学年の目標及び内容」に即して次の問いに答えなさい。

(一) 左の表は、C「読むこと」の言語活動例の一部である。①～④に入る適切な語句を書きなさい。また、⑤～⑩に入る適切な語句を下のA～Lから選び記号で書きなさい。

表

	第1学年	第2学年	第3学年
言語活動例	イ ① や随筆などを 読み、考えたことなどを ② したり伝え合っ たりする活動。	イ 詩歌や ① などを 読み、③ して解説 したり、考えたことなど を伝え合ったりする活動。	イ 詩歌や ① などを 読み、④ したり、 考えたことなどを伝え 合ったりする活動。
	ウ 学校図書館などを利用 し、⑤ な情報を得 て、考えたことなどを ⑥ したり資料にま とめたりする活動。	ウ 本や新聞、⑦ な どから集めた情報を活用 し、⑧ を明らかに しながら、考えたことな どを説明したり⑨ したりする活動。	ウ ⑩ 的な文章を読 み、実生活への生かし方 を考える活動。

- | | | | | | |
|------|------|------|------|------|-----------|
| A 提案 | B 根拠 | C 実用 | D 紹介 | E 多様 | F インターネット |
| G 事典 | H 古典 | I 文学 | J 報告 | K 出典 | L 詳細 |